



区のお知らせ

足立区

足立区千住一丁目50
(882) 1111
編集・発行/足立区役所

世論調査特集

- ① 社会福祉
- ② 社会教育
- ③ 自治意識

—第2回区政に関する世論調査—

子どもとはスープの 冷めない距離にが…… 70%

区では、去る4月、昨年につづいて2回目の「区政に関する世論調査」を実施しました。

内容は、社会福祉、社会教育、自治意識の3本の柱からなり、これらのご意見のなかから、将来への指針をくみとって、区政の進展に役立てようとするものです。

調査対象は、区内に住む満20歳以上の男女3,265人で、回収率は76.3%でした。

調査の概略はつぎのとおりです。

1. 社会福祉

■生活に困ったときの相談相手

○「親族に」が50.2%

もし万が一、みなさんが、ある日突然に収入の道が断たれ、生活が困難になったときはどこへ相談なさるでしょうか。

今度の調査では、「親族に」相談する人が50.2%と最も多く、「福祉事務所」とか「民生委員」に相談する人はそれぞれ16.6%、12.5%とかなり低くなっています。

これは、生活に困っても生活保護を受けない理由として、「役所の手続きや条件がやかましいから」とした人が一番多かったことから、まだ福祉事務所の実情や役割がよく知られていないことを示すものといえましょう。

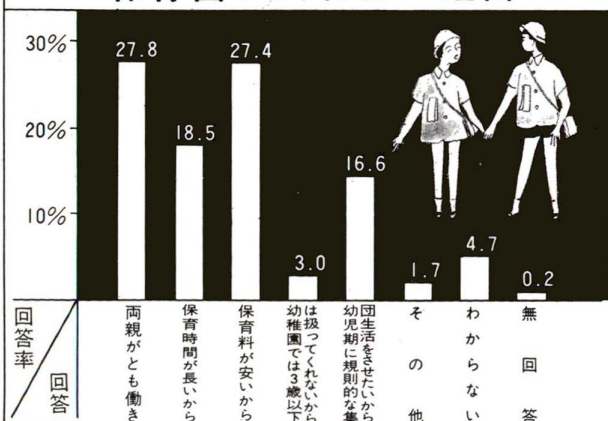
■保育園と幼稚園

○保育園に入りたい人は経済的理由が7割

保育園、幼稚園のどちらにも入園させたいかとの問に対しては、適齢の子どもを持つ親のほとんど全部が、保育園・幼稚園のいずれかに入園させたいと思っており、両方はほぼ同率でした。

また、保育園に入りたい理由としては「両親がとも働き」が27.8%、「保育料がやすいから」が27.4%と高率を示しています。さらに「保育時間が長いから」の18.5%、「幼児期に規則的な集団生活をさせたいから」が16.6%とつづき、主として経済的理由といえる回答が73.7%あります。

保育園に入りたい理由



■老後の生活保障

○老後一番期待するのは「年金」

ところで、みなさんが老後の保障を求めるとすれば、何が一番期待するでしょうか。

この調査では、「どれも期待できない」とした人が27.5%もあり、「最後まで働く」とした人16.9%と合わせると44.4%の人が自分の力で老後を支えようとしています。一方、老後の生活保障と

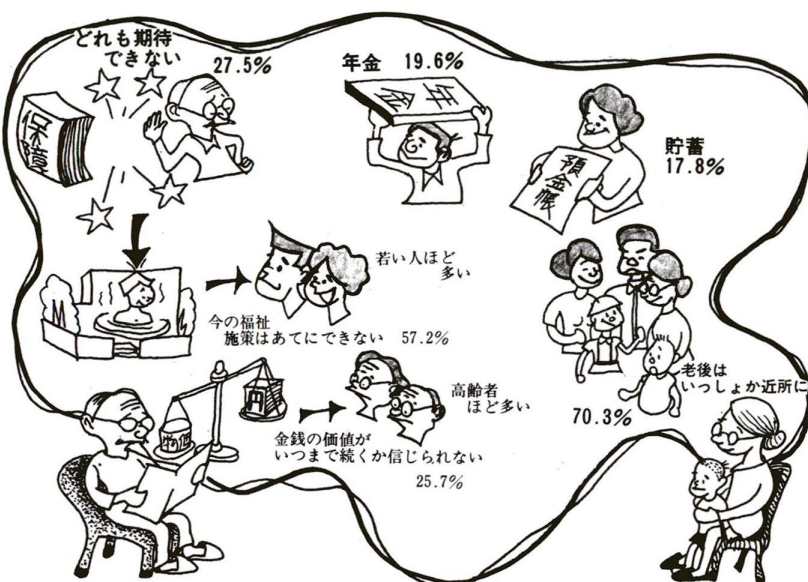
して一番期待するものは「年金」の19.6%、つぎが「貯蓄(等)」の17.8%で、「子どもたちに面倒をみてもらう」とした人は10.4%でした。

「どれも期待できない」理由としては半数以上の57.2%の人が「今の福祉政策ではあてにできない」をあげており、「金銭の価値がいつまで続くか信じられない」とした人が25.7%となっています。

また、年齢が若いほど今の福祉施策をあてにできないとした人が多く、金銭の価値……とした人は年齢の高い人に多くなっています。

○子どもとは「スープの冷めない距離に」

核家族化が進むなかで、年をとっても子どもと一緒に暮らしたいと思う人は、「せめて、近くに住みたい」とする人と合わせると70.3%のほり大体の人が老後、子や孫と接触をたもちながら生活することを望んでいます。



2. 社会教育

■青少年対策

○望まれる環境整備とリーダーの育成

少年犯罪の生まれる原因としては、「家庭のしつけ」や「本人の性質がわるい」というように、

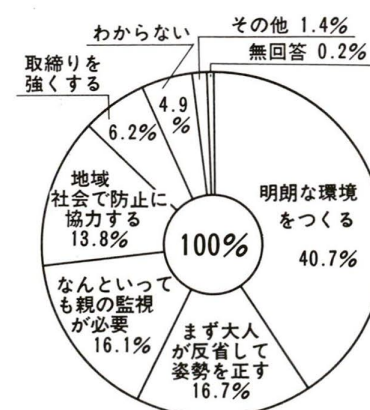
個人的な理由をあげた人は合わせて34.6%で、「地域の住民が少年犯罪に無関心」(15.1%)、「盛り場が多い」(3.3%)等の地域環境に原因を求めた人より多くなっています。

しかし、犯罪の防止策としては、全体の傾向として「明朗な環境をつくる」40.7%、「地域社会で防止に協力する」13.8%となっており、個人的要因といえる「まず大人が反省して姿勢を正す」の16.7%、「なんといっても親の監視が必要」16.1

%などよりも、まず地域の環境を整備する方が先に求められているといえます。

また、役所のとるべき対策としては、少年団体

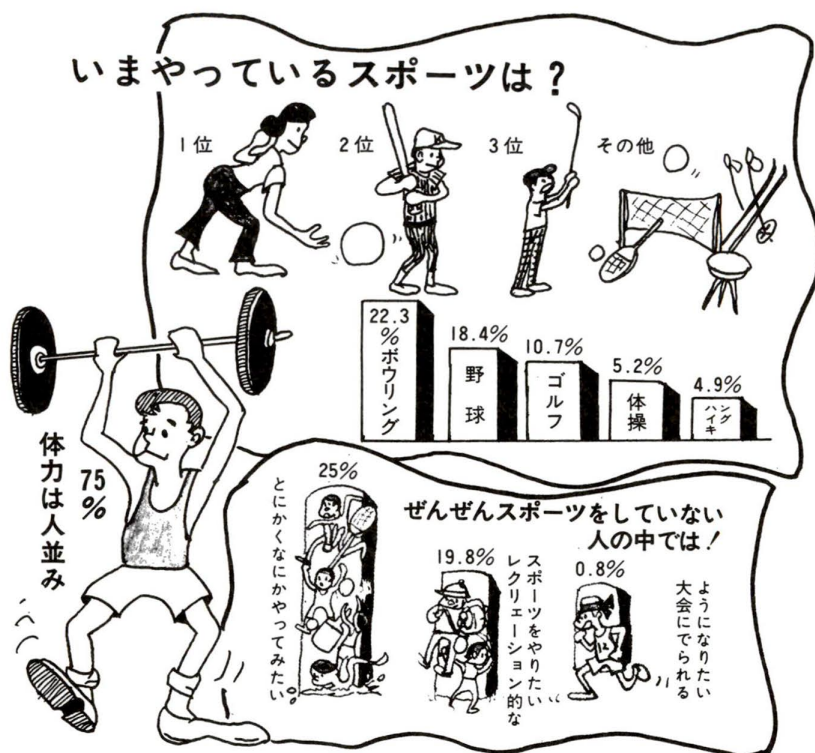
少年犯罪防止に必要なことは



への助成金とか施設の増設よりも、「地元民の協力」とか、「指導者養成」などの方が強く望まれています。

区民のスポーツ生活

ボウリング・野球・ゴルフの順で愛好



区民のスポーツ生活

○スポーツをやっている人54%

さて、あなたは体力には自信がありますか。
この調査では、約75%の人が「人並み」またはそれ以上の体力があるとしていますが、定期的にスポーツをやっている人は12.4%しかなく、42.3%の人がぜんぜんしていないと答えています。

スポーツの種類としては、ボウリング(22.3%)、野球(18.4%)、ゴルフ(10.7%)などが多く、そのほかに「テニス」、「バレーボール」、「体操」、「スキー」、「ハイキング」などがあげられます。

回数・時間は「その時の都合」が45%で最も多く、「週1回2時間以上」が20%、「週2回2時間以上」、「週3回2時間以上」、「毎日1時間以上」の順で続きます。

ぜんぜんスポーツをやっていないと答えた人の中でも「とにかく忙しかつてみたい」とした人が25%、「レクリエーション的なスポーツをやりたい人」19.8%、「スポーツの大会に出られるようになりたい人」0.8%を加えると、45.6%の人が目下のところやっていないと、潜在的意欲はあるといえましょう。

区内にある体育施設を「知っている」人49.7%「知らない」人50%ですが、実際に使ったことのある人は、10%に満たないという結果がでました。一番多く使われているのは「体育館」の48.1%つぎが「野球場」の38.5%で、「庭球場」、「陸上競技場」はそれぞれ5.4%、2.5%と大きな差を示しています。

「使ったことがない」理由としては、「時間がない(ナイター施設がない)」とした人が28.7%で最も多く、「近くに施設がない」の23.9%がこれに続きました。

3. 自治意識

最後に、住民の方々の地域との結びつきや区政への参加意識、あるいは今、全国的に盛んになっている市民運動についてご意見をうかがいました。

■地域との連帯感

○求められている連帯感

町内会(自治会)との結びつきについては、町内の行事等には参加しない人が全体の35.2%におよびその他「興味がわからない」、「1、2度なら」を合わせると72.8%の人が消極的でした。

また近所とのつきあいでは、80.1%の人が「とにかく助け合ったり」「言葉かけあったり」していますが、「こどものP・T・Aを通じて」とか「ゴミ集めや、衛生上の…」という具体的な目的を背景とした近所づきあいになると、急激に率が低下しています。

住民の連帯感を高めるにはどうしたらよいかという問には、「あまり考えたこともない」23.3%「そもそも協調の気持がない」7.8%を加算すると31.1%になります。

しかし一方では「もっと啓蒙してまちづくりの気持をたかめるべき」21.8%「まちに中心になる施設をなにかつくて気持をたかめるべきだ」20.3%を合わせると42.1%に達し、人びとの間に横のつながりを求める気持の強いことがうかがわれます。

この中心になる施設としては、「児童遊園地(20.6%)」、「福祉センター(20.2%)」などが最も望まれています。

■行政への住民参加

○住民運動の支持率30.4%

みなさんは、今さかんにいわれている「住民参加」ということばを聞くとき、どう思いますか。

このことばに建設的な意味を認める人、つまり「都民のための都政や区政を行なうためには住民参加が必要だ」とした人は30.4%ありました。

その反面、「きこえはよいが、生活に大した影響はなかろう」24.1%、「人口が多すぎて実際には実行が困難だ」12.8%、「政治家や役人の宣伝文句にすぎない」19.0%などシニカルな見方をする人が合計56.8%に達しました。

行政への住民参加の具体的方策としては、役所と住民のあいだの距離感をなくせとした人が28%住民の声をきく組織をつくれとした人は23.5%でした。

市民運動の発生原因としては、58%の人が国や自治体の都市問題対策のおくれを指摘し、市民運動を否定した人は7.4%と低率でした。

■区への愛着心

○永住したい人40.7%

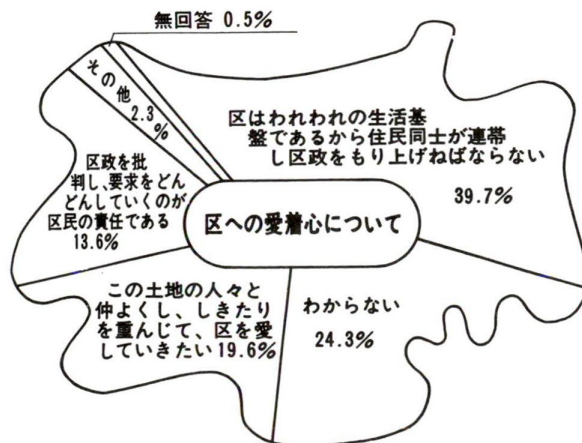
以前は、区内でも有数の米どころであった足立区も、今ではすっかり都市化してしまいました。

この区に今後もずっと住み続けたいという人は、40.7%、機会があれば引っ越したいとする人25.6%、住みたくないとした人8.0%です。

このほかに「わからない」という人が22.2%に及んでいるのは注目すべき特徴といえましょう。

また区への愛着心、連帯感その他をみると、「区はわれわれの生活基盤であるから、住民同士が連帯し、区政をもり上げねばならない」とした人が39.7%に達し、最大でした。ついで、「この土地の人々と仲よくし、しきたりを重んじ、区を愛していききたい」が19.6%、「区政を批判し、要求をどんどんしていくのが区民の責任である」とした人が13.6%でした。

この調査でみると、約60%の人が、足立区に生活基盤としての意識をもち、区に対して関心と愛着心をもっているといえそうです。



◇この調査の詳細については、区役所5階広報課、各出張所、図書館に備えてある報告書をごらんください。

なお、調査にご協力くださった方々に、この紙面をかり厚くお礼申し上げます。今後とも、区政へのご理解、ご協力をお願いいたします。